



第 83 回日本農業教育学会大会

公開シンポジウム・総会・研究発表会 プログラム

主催：日本農業教育学会

後援：国立研究開発法人 農業・食品産業技術総合研究機構 遺伝資源研究センター

筑波大学大学院 理工情報生命学術院 生命地球科学研究群 農学学位プログラム

■ 期日 2025 年 8 月 28 日（木）～29 日（金）

■ 会場 文部科学省研究交流センター 2 階 国際会議場

〒305-0032 茨城県つくば市竹園 2-20-5

（TX つくば駅から約 1.1km 徒歩 15 分）

[文部科学省研究交流センター](#)

地図参照（QR コード）

無料駐車場約 70 台（9 時から 17 時まで利用可能）。近隣にも有料駐車場あり。



会場（文部科学省研究交流センター外観）



発表会場（研究交流センター2階 国際会議場）

■ 大会実行委員会

実行委員長：田中 大介（農研機構 遺伝資源研究センター／筑波大学 生命環境系）

実行委員会連絡先：〒305-8602 茨城県つくば市観音台 2-1-2

農研機構遺伝資源研究センター 田中 大介

TEL：029-838-7459

E-Mail：dtanaka@affrc.go.jp

■ 日程

8 月 28 日（木）

10:00～11:30 施設見学 （農研機構遺伝資源研究センター：つくば市観音台 2-1-2）

12:30～13:15 評議員会 （文部科学省研究交流センター 2 階 第一会議室）

13:30～17:00 公開シンポジウム（文部科学省研究交流センター 2 階 国際会議場）

18:00～20:00 交流会 （Beer & Cafe Engi）

8 月 29 日（金）

9:00～11:20 研究発表会 1 （文部科学省研究交流センター 2 階 国際会議場）

11:30～12:00 ポスター発表 （文部科学省研究交流センター 2 階 展示室）

13:15～14:00 総会 （文部科学省研究交流センター 2 階 国際会議場）

14:10～16:25 研究発表会 2 （文部科学省研究交流センター 2 階 国際会議場）

16:30～16:40 閉会 （文部科学省研究交流センター 2 階 国際会議場）

- 施設見学 [8月28日(木) 10:00~11:30 農業生物資源ジーンバンク(農研機構 遺伝資源研究センター)] (先着50名。学会員および大会参加者優先)

連絡先: 〒305-8602 茨城県つくば市観音台 2-1-2

農研機構遺伝資源研究センター 資源保存ユニット

TEL: 029-838-7459 [遺伝資源研究センター](#)

地図参照(QRコード)



現地集合(TXつくば駅、TXみどりの駅からコミュニティバス(つくバス;片道200円)に乗り、農林団地中央バス停で下車。バス停から遺伝資源研究センターまで徒歩4分)

施設見学(現地集合)への移動方法(8月28日)

コミュニティバス (つくバス)	(TXつくば駅) つくばセンター発 『南部シャトル』	TXみどりの駅発 『自由ヶ丘シャトル』
駅のバス停	9:30	9:00
↓	↓	↓
農林団地中央バス停	9:48	9:19

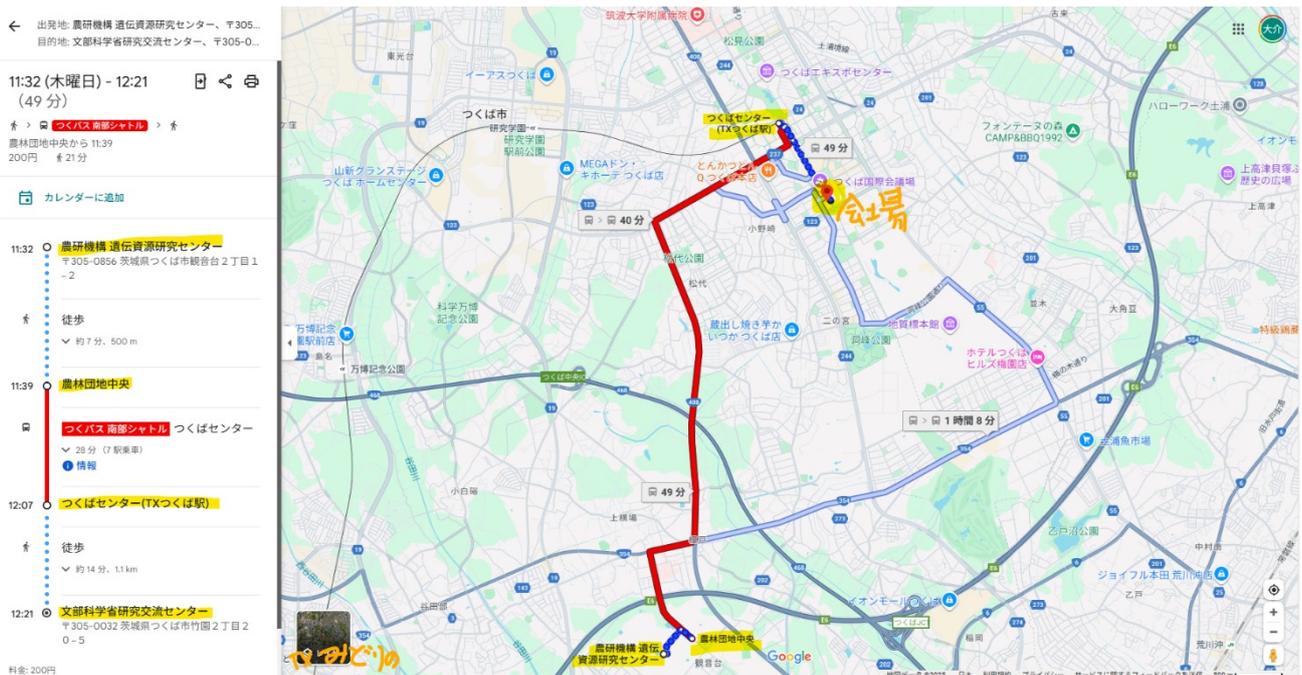
*つくバスは片道200円

路線バス (関東鉄道バス)	JR牛久駅(常磐線)発 『谷田部車庫行』
牛久駅のバス停	9:25
↓	↓
農林団地中央バス停	9:44

*牛久駅~農林団地中央は片道490円

施設見学(農研機構)から大会会場への移動方法(8月28日)

コミュニティバス (つくバス)	TXつくばセンター(つくば駅)行き 『南部シャトル』
農林団地中央バス停	11:39
↓	↓
TXつくば駅バス停	12:07



<https://maps.app.goo.gl/FsTLksuLDFew9LE77>

見学施設から大会会場までの経路→



施設見学（農研機構）終了後の移動について、以下の通りご案内いたします。

- ・見学終了後は、見学施設から「農林団地中央バス停」へご移動ください。
- ・**11時39分発の「南部シャトル」バス**にご乗車いただき、つくばセンター（駅）へ向かってください。
- ・つくばセンター（駅）到着後は、昼食を各自でお済ませください。駅周辺の飲食店をご利用いただくか、弁当をご持参いただければ会場内（第2会議室）でお召し上がりいただけます。

午後の予定は以下の通りです：

- ・**13時30分より「公開シンポジウム」**が開始されます。会場は、文部科学省研究交流センターです。つくば駅から会場までは**徒歩約15分**かかります。当日は**受付（参加費のお支払い）**もごございますので、時間に余裕をもってご来場くださいますようお願いいたします。

なお、以下の方は別途ご案内があります：

- ・評議員会（会場：第一会議室、時間：12時30分～13時15分）にご出席される評議員の方は、バスを降りた所から係員が会場までご案内いたします。係員の指示に従ってご移動ください。

つくば駅周辺のグルメマップ

https://www.tsukucen.com/_files/ugd/518425_f9501d92bc6848b29396e8f8d82e7e17.pdf



※掲載情報は2023年11月時点のものです。現在の状況と異なる場合がありますので、参考情報としてご覧ください。

※会場となる「文部科学省研究交流センター」は、図の中央一番下にある「つくば国際会議場」より一つ下に位置します。

■ 第22回 農業高等学校生 意見文全国コンクール授賞式

[8月28日(木) 13:30～13:3 文部科学省研究交流センター 2階 国際会議場]

最優秀賞 「私の目指す草花生産」

高橋 こは（栃木県立宇都宮白楊高等学校 農業経営科）

指導教諭 阿久津 晃一

■ 公開シンポジウム [8月28日(木) 13:30~17:00、文部科学省研究交流センター 2階 国際会議場]

参加費：無料

テーマ：「農業教育の未来：地域からグローバルまで」

趣旨：農業は持続可能な社会の形成において不可欠な役割を担っています。これからの農業教育は、地域社会との連携を深め、グローバルな視点を持ちながら、スマート農業を含む最新技術を活用した指導方法を確立することが求められます。本シンポジウムでは、農業高校での実践や地域との連携、国際的な教育事例について講師の方々からご紹介いただくとともに、北海道大学のスマート農業教育研究拠点による実践事例を共有します。同大学では、スマート農業を担う人材の育成に取り組んでおり、社会実装を見据えた教育プログラムの開発を進めています。こうした先進的な取り組みを通じて、農業教育に求められる革新性と課題について議論し、より効果的な教育方法を模索します。さらに、パネルディスカッションでは、農業教育が直面する課題と未来の姿について専門家や教育関係者と共に議論を深めます。この貴重な機会を通じて、農業教育の可能性を広げ、未来を築くためのアイデアを共有しましょう。

シンポジウム次第

時間	内容	講演者
12:00~13:30	開場・受付	
13:35~13:40	学会長挨拶 大会実行委員長挨拶	平尾 健二 (福岡教育大学・教授) 田中 大介 (農研機構/筑波大学)
13:40~14:20	「農業高校での教育プログラムや地域連携の取り組みの紹介」	渡辺 勉 (元 秋田県立大曲農業高等学校・校長)
14:20~15:00	「アフリカの農家へ経営コンサルタン ト視点を導入した実践事例の紹介」	小出 淳司 (国際農林水産業研究センター・主任研究員)
15:00~15:10	休憩	
15:10~15:50	「スマート農業教育の可能性について、最新技術を交えて解説」	星野 洋一郎 (北海道大学北方生物圏フィールド科学センター・教授/農水省事業スマート農業教育拠点・代表)
15:50~16:20	「農業生物遺伝資源の教育利用と農業への貢献について考察」	田中 大介 (農研機構遺伝資源研究センター・ユニット長/筑波大学生命環境系・准教授)
16:20~16:50	パネルディスカッション「農業教育の新たな潮流—スマート農業と地域・グローバル連携」	登壇者全員
後日	アンケート記入をお願いします	QRコードからご回答ください https://forms.gle/LKpKFfKjjgKBHC5D7



■ 交流会

日時 8月28日(木) 18:00~20:00

場所 Beer & Cafe Engi

茨城県つくば市吾妻 1-10-1 つくばセンタービル 1F

[Beer&Cafe Engi](#)



地図参照(QRコード)

■ 参加費と交流会費

金額は次のとおりです。当日受付でお支払いをお願いします。

	正会員・顧問	非会員	学生会員
大会参加費	3,000	4,000	1,000
交流会費	6,000	6,000	2,000

- ・高校生の大会参加は無料、ただし要旨集の配布はありません。
- ・当日の参加申込も受け付けます。

■ 研究発表会

口頭発表をされる皆様へ

- ・プロジェクタとの接続は HDMI です。変換アダプタが必要な方は必ずご持参ください。
- ・バッテリー切れに備え、AC アダプタを発表会場にご持参ください。
- ・発表セッション前の休憩時間に、スクリーンと PC の接続確認を行います。
- ・発表用ファイルは、USB メモリ等にバックアップして会場にお持ちください。
- ・ノート PC をご持参いただけない方は、事務局が準備した PC をご利用ください (USB 等でデータを移行)。
- ・発表時間は、発表 12 分+質疑応答 3 分の計 15 分です (予鈴 1 回 10 分、2 回 12 分、3 回 15 分)。

ポスター発表をされる皆様へ

- ・ポスターボードのサイズは 縦 1740mm × 横 1180mm です。A0 サイズのポスターの貼り付けが可能ですので、所定の場所に掲示してください。
 - ・ポスターの掲示は、8月28日(木)より可能です。
 - ・ポスター発表は8月29日(金)11時30分より開始いたしますので、発表者の皆様におかれましては、同日11時20分までに所定のポスターボードへの掲示を完了いただきますようお願いいたします。
 - ・発表終了後は、同日14時までにポスターの撤去をお願いいたします。
- 円滑な進行のため、時間厳守にご協力いただけますよう、お願い申し上げます。

■ 発表・参加申込み

本シンポジウム、大会、施設見学への参加をご希望の方は、事前にお申込みいただきますようお願い申し上げます。なお、参加費等のお支払いにつきましては、当日会場にてお支払いいただきます。何卒ご理解のほどよろしくお願い申し上げます。皆様のご参加を心よりお待ちしております。

第 83 回 日本農業教育学会大会 発表・参加登録フォーム (Google フォーム) からご入力ください。

申込みサイト URL (申込受付中)

<https://forms.gle/A7K7FqhFg8PSZsMC7> → 右の QR コードから申込み



【公開シンポジウムのみ申込み】 令和 7 年 6 月 2 日～8 月 23 日 (受付終了)

(公開シンポジウム (無料) のみ参加あり、研究発表なし、大会参加なし、施設見学なし/ (あり)、交流会なし、の方)

【大会参加の申込み】 令和 7 年 6 月 2 日～8 月 23 日 (受付終了)

(研究発表なし、大会参加あり、施設見学あり/なし、公開シンポジウム参加あり/なし、交流会あり/なし、の方)

【研究発表の申込み】 令和 7 年 6 月 2 日～7 月 23 日 (受付終了)

(研究発表あり、大会参加あり、施設見学あり/なし、公開シンポジウム参加あり/なし、交流会あり/なし、の方)

★研究発表要旨の提出：令和 7 年 6 月 2 日～7 月 27 日

交流会キャンセルは 8 月 8 日以降キャンセル料 (交流会費) をお支払いいただきます。

学会発表の要旨は、~~学会公式ページ (大会ページ) より様式ファイル (B5 サイズ) をダウンロードの上、作成してください。作成した要旨は、提出期日内に dtanaka@affrc.go.jp まで、メールに添付して送付してください。~~

メールタイトルの記載方法:

~~「【農業教育学会研究発表要旨】○○○○ (□□□□□□)」~~

~~○○○ には 発表者のお名前 を記載~~

~~□□□□□□ には 所属先 を記載~~

詳細は学会公式ホームページまたは大会ページにてご確認ください (随時更新)。

<https://agriedu.jp/>



■ 研究発表会 (口頭発表・ポスター発表)

[8 月 29 日(金)] 開場 8 時 40 分～

口頭発表 1 9:00～11:25 文部科学省研究交流センター 2 階 国際会議場 (発表 12 分、質疑応答 3 分)

9:00～10:00 座長：勝川 健三 (弘前大学)

1) プランターを用いたミニトマトとエダマメの混植が生育と収穫量に及ぼす影響の教材化

○藤井 道彦, 竹ノ内 翔

静岡大学教育学部

2) サツマイモ水耕栽培法による屋上緑化・壁面緑化の教材化

都市環境における資源循環型水耕栽培モデル教材の構築 (その 2)

○山崎 功

神戸市立大池中学校

3) キャベツおよびダイコン栽培における無農薬害虫防除の開発

坂元 昂太¹, ○岩崎 舜太², 浅野 陽樹²

¹元鹿児島大, ²鹿児島大

4) 中学校技術科で実施可能な生ごみの短期コンポスト化技術の開発

○大保 香菜子, 浅野 陽樹

鹿児島大学

10:05~11:20 座長：藤井 道彦（静岡大学）

5) 持続可能な農業の視点から捉えたイネの段階的精米と栄養価の関係性

農業教育に向けた教材化の基礎的研究

○松浦 丈一郎¹, 山内 悠勢², 日比野 拓³, 廣津 直樹⁴

¹埼玉大学教職大学院, ²東洋大学大学院生命科学研究科, ³埼玉大学, ⁴東洋大学

6) 保育者養成課程大学生の栽培活動に関する意識調査

○黒田 千尋, 野田 勝二, 三島 孔明

千葉大学

7) 学校現場における菌ちゃん農法の活用に関する研究

○平尾 健二¹, 澄出 晃太郎², 吉田 俊道³

¹福岡教育大学, ²北九州市立小屋瀬小学校, ³(株)菌ちゃんふぁーむ

8) 気候変動に適応した学校園でのトマト栽培方法の検討

○森 太郎, 加藤 龍之介, 久保 加織

滋賀大学教育学部

9) 大学生が主体となった農業体験提供の効果

産学連携による大学附属農場での子供を対象とした農業体験活動

○作田 竜一

宮城大学

ポスター発表 11:30~12:00 文部科学省研究交流センター 2階 展示室

司会: 田中 大介（農研機構）

P-1) 非農業系学生の農業への関与を促す地域・企業との協働的取り組み

○田部田 晋¹, 藤本 雄紀², 日下 恭輔², 松田 夕貴³,

¹北陸大学, ²大阪産業大学, ³北菱電興株式会社

P-2) ガーデニング活動を用いた福祉教育実践の意義と課題

車椅子とアイマスクを用いたユニバーサルデザイン教育を事例に

○林 典生

南九州大学環境園芸学部

P-3) 農業高校と大学農学部の接続を見据えた進路意識の分析

○中村 元香, 飛田 有支, 有泉 高史

玉川大学農学部

P-4) 農業教育分野における教員研修留学生制度の活用

～グローバル人材養成に資する活動モデルの検討～

○飯田 隼¹, 辻 耕治¹, Nwaokocha Patrick Onyelukachukwu^{1, 2}

¹千葉大学, ²教員研修留学生

P-5) 画像処理アプリ PREPs と GNSS 基地局：スマート農業と農業教育のためのツール

○Njane Stephen Njehia^{1, 2}, 伊藤 淳士^{1, 2}

¹農研機構農業情報研究センター, ²農研機構北海道農業研究センター

P-6) ストック八重鑑別を大学専門実習に導入した時の効果

○岡田 佳菜子, 上西 孝明, 小林 孝夫,

拓殖大学北海道短期大学

P-7) マカ (*Lepidium meyenii*) 栽培の教材化に向けた環境適応性の評価

○水野 真二, 四方田 莉玖, 上吉原 裕亮, 立石 亮, 小谷 幸司, 新町 文絵

日本大学生物資源科学部

12:00～13:15 昼休み

13:15～14:00 総会 文部科学省研究交流センター 2階 国際会議場

口頭発表 2 14:10～16:25 文部科学省研究交流センター 2階 国際会議場 (発表 12分、質疑応答 3分)

14:10～14:55 座長：作田 竜一 (宮城大学)

10) 大学農場での GAP 実践と農場実習を活用した医農連携教育

医農連携による食農教育

○波平 知之¹, 伊藤 早苗², 屋良 朝宣³, 村田 正将³, 茅野 太紀³, 鈴木 詩織³,

新垣 美香³

¹琉球大学農学部附属亜熱帯フィールド科学教育研究センター, ²琉球大学医学部,

³琉球大学総合技術部

11) 農業高校における GAP の可能性と課題

全国アンケート調査の結果から

○齋藤 修平, 安部 由香子

東京農業大学

12) 「農業大学校における知的財産教育の導入事例～開発教材と学生の反応～」

○陳内 秀樹¹, 大神 健治²,

¹山口大学, ²合同会社つちかい

14:55～15:40 座長：浅野 陽樹（鹿児島大学）

13) フレンチタラゴンの液体培養における継代時の培養部位が不定根形成に及ぼす影響

○摺崎 宏

大分短期大学

14) オーニソガラム・ダビウムの球根の肥大に及ぼす炭酸ガス施用と摘葉・摘蕾の影響

○神田 啓臣¹, 今西 弘幸², 北本 尚子¹, 吉田 康徳¹

¹秋田県立大学生物資源科学部, ²秋田県立大学アグリイノベーション教育研究センター

15) 市民協働による地域植物の生息域外保全活動

板柳町古館城址に生息する「真澄の白たんぽぽ」の保全

○勝川 健三¹, 北島 清美²

¹弘前大学, ²シロバナの再考

15:40～16:25 座長：森 太郎（滋賀大学）

16) 保育園における栽培活動を絵の解釈から評価する

○野田 勝二, 加藤 悠

千葉大学

17) 高等学校農業教育における森林・林業の教育内容の構成の提案

○井上 真理子

森林総合研究所多摩森林科学園

18) 農業高校の食品分野における教育の現状と課題

○安部 由香子, 武田 晃治

東京農業大学

16:30～16:40 閉会